

わたしたちのくらしを守るためにまちでは、どこで、どのような人たちが、はたらいているのでしょうか。みんなで話し合ってみましょう。

1

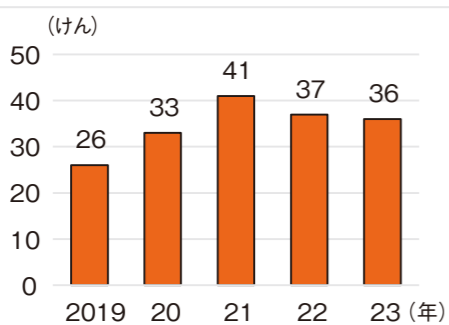
火事から人びとを守る

気づく

草津市では、どれくらい火事が起こっているのでしょうか。

電気機器	11
たばこ	11
たき火	10
コンロ	9
放火(疑い)	8
天ぷら鍋の放置	4
屋内配線	3
スパーク	2
その他	33

火災原因 (2023年)
〔草津市・守山市・栗東市・野洲市合計〕



草津市で起こった火災けん数
〔湖南広域消防局 消防年報より〕



消火活動をする消防隊員 (湖南広域消防局 パンフレットより)

草津市の火事を調べる

わたしたちの身近なところでも火事は起こっています。火事はどのようにして起きるのでしょうか。また、火事を見つけた時にはどうしたらよいのでしょうか。

年	けがをした人	なくなった人
2019年	5人	0人
2020年	5人	1人
2021年	7人	1人
2022年	4人	0人
2023年	5人	2人

草津市の火災による人のひがい
〔湖南広域消防局 消防年報より〕

見方・考え方のポイント

火事のけん数やひがいの人数の変化について、気づいたことを話し合おう。

119番のしくみ

火事を見つけた時は、119番に電話(通報)します。119番に電話すると、どこへつながるのでしょうか。

119番通報から出動まで

119番をかけると栗東市にある災害管制センターの指令管制室(通信指令室)につながります。



119番通報

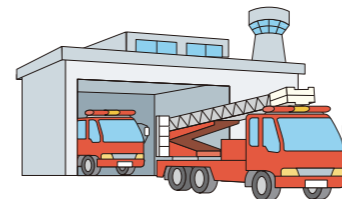
火災発生



出動



指令



消防しょ

119番を受けるところ

指令管制室での仕事

- ① 通報受付
- ② どんな災害(火災か救急か)か、たしかめる。
- ③ 災害のおこった場所を調べ、出動隊をつくる。
- ④ 消防しょへ出動指令を出す。



指令管制室(通信指令室)
湖南広域消防局では、通信指令室のことを指令管制室とよんでいます。



れんらく

病院

ガス会社

水道局

電力会社

消防団

けいさつしょ



通信指令室

119番の電話をした時につながるところ。火災なのか救急なのかをたしかめ、火災の場所を確認します。消防しょに出動を指令したり、他の関係するところにも連絡を入れたりします。

見方・考え方のポイント

通信指令室は、なぜいろいろなところに連絡しているのだろう。教科書などを見て考えてみよう。

調べる

消防しょの人たちの仕事はどのようなものがあるのでしょうか。

見学カード①(例)

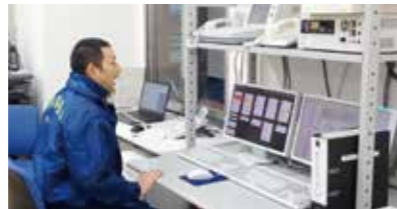
見てくること

火事が起こった時、早く出動できるようにどことなくふうをしているのだろう。



消防士のくふう

指令から1分で出動できるように、さまざまなくふうがあります。見学して調べてみましょう。



消防士の話

消防しょでは、24時間いつでも指令を受けたら1分以内に出動できるようにそなえています。一人でも多くの人を助けられるように、日ごろから訓練や体カトレーニングに取り組んでいます。

消防士の仕事

消防士は、ふだんから消火や救助の訓練をしたり、消防自動車や道具などの点検をしたりして、火事にそなえている。



消防士さんは日ごろ、どんなことに気をつけて仕事をしているのかな。

見方・考え方のポイント

写真を見て、下のポイントから消防士の仕事のくふうを考えてみよう。

- ①訓練 ②点検

消防自動車のひみつ

消防自動車には多くの種類があります。消防局のホームページで調べてみましょう。



はしご車



高規格救急自動車

火事からくらしを守る人びとのたすけについて、調べたことを話し合おう。

湖南広域消防局は、草津市・守山市・栗東市・野洲市の4つの市が協力して地いきの安全を守っています。



見方・考え方のポイント

消防しょの建物や道具・消防自動車には、どんなひみつがかくされているだろうか。調べてみよう。



見学カード②(例)

見てくること

- 高規格救急自動車

- 水そうつき消防ポンプ自動車

調べる

草津市には、いくつの消防しょがあるのでしょうか。

湖南広域消防局

草津市、守山市、栗東市、野洲市のどこに住んでいても、8分以内で火災現場に到着できるように消防しょを配置しています。

火事をふせぐために

学校などたくさんの人が集まる^{あつ}ところには、火事をふせぐため・身を守る^{まも}ためのせつびがあります。身の回りのせつびを調べ^{しら}みましょう。

調べる

火事からわたしたちのくらしを守るために、学校やまちには、どのようなものがあるでしょうか。

見方・考え方のポイント

それぞれのせつびが、どうしてその場所にあるのだろう。わけも考えてみよう。

学校にある消防せつび



↑ 火災報知器



↑ 非常口



↑ 防火とびら



↑ 火災受信器



↑ 消火器



↑ 誘導灯



↑ 屋内消火栓

まちにある消防せつび



↑ 消火せん



↑ 防火水そう



↑ ひなん訓練の様子

ほかにも、ひなんけい^ろ路^{せつてい}を設定したり、ひなん^{くんれん}訓練^{とく}に取り組んだりしています。

さいがい 災害にそなえる

災害にそなえた、地いきの取り組みについて調べてみることにしました。

しょうぼうだん 消防団の人



↑ 消防しょと協力して、地いきの防火活動に取り組んでいます

災害にそなえた活動



↑ 地いきの人と消防しょや消防団で協力して行う消火訓練



↑ 市内の小学5年生による防火ポスター

地いきの消防・防災せつび



↑ 市内いっせいきん急放送システム



↑ 防災びちく倉庫

草津市では、2011（平成23）年から市内いっせいきん急放送システムがはじまりました。災害などのきん急時にFMラジオや屋外スピーカーから情報が発信されます。

見方・考え方のポイント

自分の家では、災害にそなえてどんなことをしているのか調べてみよう。

消防団

地いきの人たちがつくる組織のこと。火事などの災害の時に消防しょと協力する。

9 years plan

湖南広域消防局が進めている学習プログラムのこと。災害時に「自分の命は自分で守る」ための方法を身につけることを目的としています。

こども園・幼稚園・保育園（所）の3年間と小学校6年間の9年間つづけて行う。

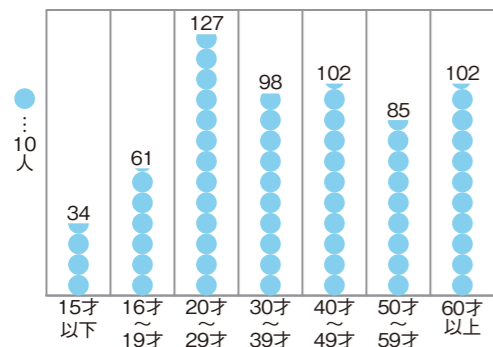
表現する

災害にそなえて、わたしたちにできることをまとめましょう。

2 交通事故や事件をふせぐ

気づく

交通事故はどのようなときに起こるのでしょうか。



草津しよ管内 年別交通事故(死傷者数) (2023年)

身の回りのきけん

わたしたちの身の回りには、自転車や自動車などいろいろな乗り物があります。これらの乗り物は生活の中で大切な役わりをもっていますが、命をうばう大きな事故につながることもあります。

●歩いているとき

い反していない	12
飛び出し	7
横断時等のい反	6
一人歩き	4
信号無視	2
その他	3
合計	34

●自転車に乗っているとき

横断時等のい反	21
交差点でのい反	21
一時不停止	12
い反していない	11
安全運転義務い反	9
その他	13
合計	87

15才以下の事故、滋賀県内のけん数。

子どもが関係した交通事故(死傷者数) (2023年)

けいさつしよではたらくの人の話



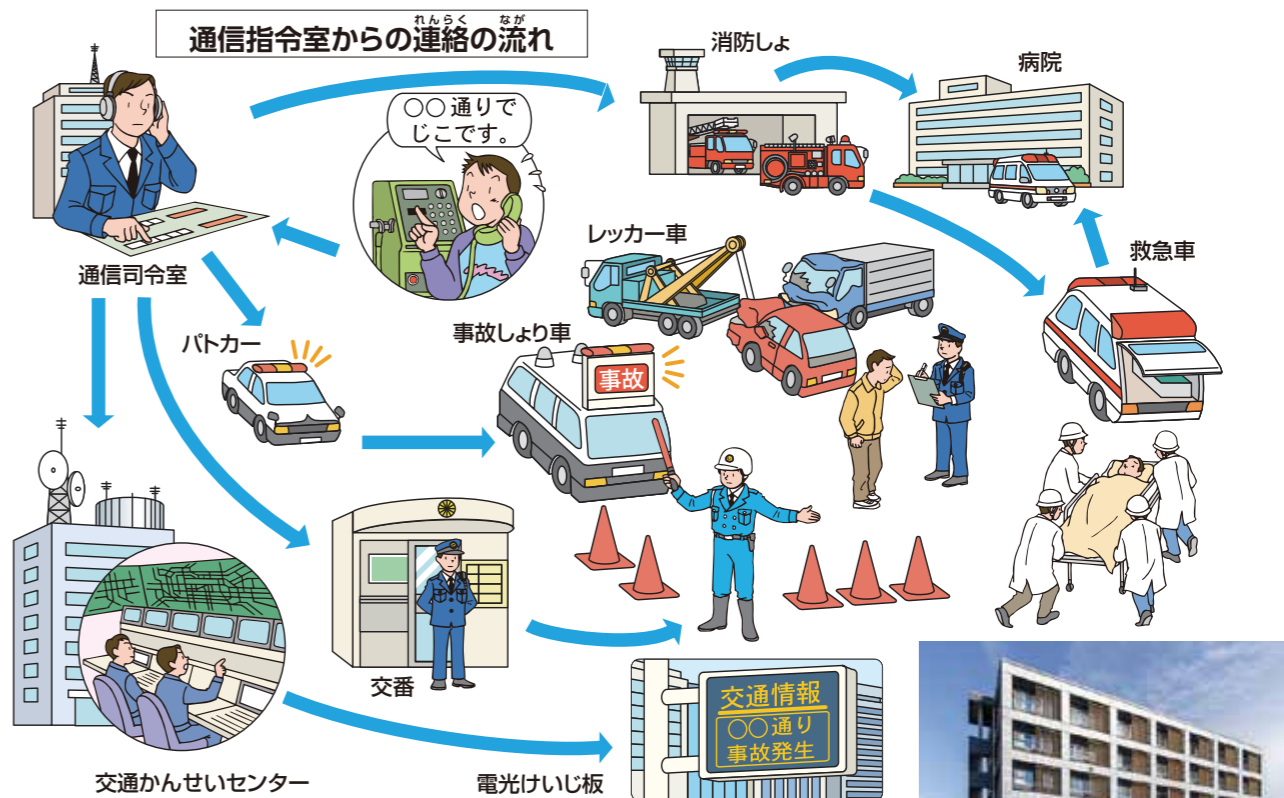
草津しよ管内では、自転車に関する事故が多いです。気をつければ、ふせげる事故もあります。ルールを守るといふ意しきが大事です。一人一人が気をつけてほしいと思っています。

けいさつしよでは、事故や事件からくらしを守るために、どんな取り組みが行われているのでしょうか。わたしたちにも、できることはあるのでしょうか。調べてみましょう。



自転車用のヘルメットをかぶって登校する様子

※自転車利用者は、ヘルメットを着用するよう法律で決められています。



事故が起きたら

交通事故の知らせが入ると、けいさつしよの人はすぐに事故現場にかけつけます。通信指令室を中心に多くの人びとが連絡し合って、協力して仕事をします。

「事故がおきると、けいさつ以外の人にも連絡が入るのね。」

けいさつへの通報で伝える事 (110番)

- 事故の場所 (目立つ建物)
- 事故の様子
- 自分の名前や電話番号

草津けいさつしよ



滋賀県警察本部 通信指令室

調べる

事故の知らせは、どのように伝わるのでしょうか。

通報

情報を知らせること。110番の電話は、けいさつ本部の通信指令室につながります。



草津市内には、現在8つの交番やちゅうざい所があります。

暮らしを守る仕事

けいさつしょの人は、事故の対応だけでなく、わたしたちが安心してくらすための仕事をしています。けいさつしょの人に聞いて調べました。



事故を防止するために

交通安全教室を実施しています。自転車の乗り方や横断歩道の歩き方について、話をしたり体験を行ったりしています。

横断歩道や、信号の設置

車や人がそれぞれ安全に通行できるように、横断歩道や信号をどこに設置するかを考えることも大事な仕事です。

交通い反の取りしまり

交通のさまたげになるちゅう車い反や、交通ルールを守らない運転などを取りしまります。スピードの出しすぎはたいへんあぶないです。走る車をとめて、シートベルトをするよびかけもしています。



シートベルトをするよびかけしている様子

事故や事件から暮らしを守る人びとのはたらきについて、調べたことを話し合おう。

事件への対応

事件の知らせがあると、すぐにパトカーが現場にかけつけます。不審者情報が入ってきたときは、市役所と連携いしてメールを配信し、身の安全を守るよびかけます。

事件を防止するために

トラブルが起りやすいところは、パトロールを強化します。また、不審者に対応するための訓練を行っています。ボランティアの方といっしょに町の様子を見回ることもしています。



事件を防止するよびかけている様子

安全なまちづくり

わたしたちの町には、交通事故や事件から身を守るための設備、道具がたくさんあります。また、多くの人があるために、協力してくださっています。



飛び出しぼうやは、小学校の保護者や地いきのボランティア団体によって作られることが多いです。

飛び出しぼうや

地いきのボランティアの方が、毎日見守ってくださっています。おかげで、安心して下校できます。



見守り下校の様子

地いきの小中学生とけいさつしょの人がいっしょにきけんな場所を地図で確認し、注意をよびかけます。

注意をよびかけるポスターをはる様子



調べる

わたしたちの身の回りがある、わたしたちの安全を守ってくれるものをさがしてみましよう。

こども110番

いざという時に、こどもたちが助けを求められるよびにしている店や家のこと。



犯罪にまきこまれないよびによびかけます。交通安全にかかわるお知らせにもかん板を使います。



犯罪防止のかん板

この他にも、安全なまちづくりのために、自分たちに何ができるかな。話し合ってみましよう。